

第 3 期中期目標期間中における教育職員の採用方針について（抄）

中期計画番号 56(戦略性が高く、意欲的な計画)	本学の重点的な施策を機動的に展開するため、第 3 期中期目標期間に学長裁量資源を、教員ポストについては 25%、予算については単年度で 10 億円以上確保するとともに、学長が大学戦略会議を主導しながら、教育研究組織等の再編成や全学資源の再配分を政策的な優先順位を明確にし、戦略的に進める。
--------------------------	--

- 中期計画（計画番号 56）に基づき、各部局は平成 28 年度部局配分定数の 25%を学長裁量ポストとして拠出し、拠出後の規模を前提に第 3 期中期目標中期計画を踏まえ、特に機能強化する取組について、行動計画を構想する。
- 学長は、本学の機能強化や組織の再編による効果的な予算の活用等に積極的に取り組む部局に対し、必要な学長裁量ポストを貸与する。
- 各部局が作成した行動計画について、大学戦略会議において評価基準をもとに評価し、評点の高い順に学長が各年度に許可をする教員採用数を決定する。
 - ⇒ 第 3 期中に学長裁量ポストにより採用する教員数については、全体で 40 人程度を目安とし、部局の行動計画の評価結果に応じ、財源の範囲内で、毎年度採用者数を決定する。
 - ⇒ 意欲と能力のある若手研究者を確保し、本学の研究の活性化と教員年齢構成の是正に取り組むため、貸与する学長裁量ポストの半数程度は 40 歳未満（テニュアポストによる採用だけではなく、テニュアトラック制度の活用や卓越研究員の採用も可能）を目指す。
- 現在運用中のテニュアトラック教員（卓越研究員を含む）及びバッファリング教員については、学長裁量ポストとして今後貸与する約 40 ポストとは別に、運用中の財源の範囲内で、これまでどおりテニュアトラック制度の場合は 5 年間、バッファリングについては 2 年間、学長裁量ポストにより人件費を措置するなど、今後も若手教員や女性教員の採用を目指す。